

事 務 連 絡

平成 23 年 10 月 28 日

各 私 立 専 修 学 校 御 中

岩手県総務部法務学事課私学振興担当

被災地の若者を支援する海外研修の参加者募集について
このことについて、別添写しのとおり通知がありましたのでお知らせします。

○BOTTEGA VENETA

http://www.bottegaveneta.jp/ja_JP/stories/gallery-IUAV-Charity-blog-stories.html

○子どもの学び支援ポータルサイト内の紹介ページ

http://manabishien.mext.go.jp/mu814rviz-453/#_453

【担当】私学振興担当 小野寺

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス：hiro-onodera@pref.iwate.jp

この通知は下記のアドレスからもダウンロードできます。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?ed=25963&ik=0&pn=14>

差出人: 岩手県総務部法務学事課 <AH0007@pref.iwate.jp>
件名: Fw: 【情報提供】被災地の若者を支援する海外研修の参加者募集について
日付: 2011年 10月 25日 (火) 17:51
宛先: 小野寺裕士 <hiro-onodera@pref.iwate.jp>

----- オリジナルメール -----

件名: 【情報提供】被災地の若者を支援する海外研修の参加者募集について
差出人: e-saitoh@mext.go.jp
日付: 2011年 10月 25日 (火) 14:06
宛先: e-saitoh@mext.go.jp

※このメールは東日本大震災に係り災害救助法が適用されている各都県の
私立専修学校主管課 ご担当者様にお送りしております。
ご担当が異なる場合は、恐れ入りますがご担当者様へ本メールの転送をお願い
いたします。

平素より大変お世話になっております。

さて、文部科学省では東日本大震災の被災地支援の一環として、
支援のマッチングを行う「子どもの学び支援ポータルサイト」を運営しております。
本日、上記ポータルサイトにイタリアのイタリアのファッションブランド「ボッテ
ガ・ヴェネタ」より、
被災地の若者を対象に「イタリアのベネチア建築大学でバックのデザインや商品開
発を学ぶ研修」の
参加者募集が掲載されました。

3ヶ月の期間中の受講料、渡航費、生活費と合わせ、渡航前のイタリア語研修費
を支援されるもので、
11月7日が応募書類の締切り日となっております。

参考情報としてお知らせするとともに、各都県のご担当者様におかれましては
お忙しいところ恐縮ですが、本件につきましてご周知のほどよろしく願います。

どうぞよろしくお願いいたします。

※支援の詳細、応募要項についてはボッテガ・ヴェネタWEBサイトをご参照くださ
い。

http://www.bottégaveneta.jp/ja_JP/stories/gallery-IUAV-Charity-blog-stories.html

※子どもの学び支援ポータルサイト内の紹介ページ

http://manabishien.mext.go.jp/mu814rviz-453/#_453

文部科学省生涯学習政策局 生涯学習推進課
専修学校教育振興室

齊藤 瑛理子 (SAITOH, Eriko)

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL 03-5253-4111 (内線3468)
03-6734-3468 (直通)

FAX 03-6734-3281
E-mail e-saitoh@mext.go.jp

BOTTEGA VENETA

ボッテガ・ヴェネタ

東日本大震災 被災地の若者に向けたイタリア留学支援プログラム 応募要項について

1 趣旨、支援内容

ボッテガ・ヴェネタは、東日本大震災で被災された若者を対象とするチャリティプログラムを実施します。

このプログラムは3名のイタリア留学を支援し、バッグのデザインや製品開発などを学べる3ヶ月間の上級者コースに参加してもらうものです。このコースはボッテガ・ヴェネタがヴェネチア建築大学 (IUAV)、ジャコモ・ルモール・ヴェネト生産性財団と共同で開発しました。

留学プログラムの無償提供は、ボッテガ・ヴェネタと強い絆で結ばれている地域に還元する継続的な社会貢献活動の一環であると同時に、長らく続けてきた次世代のデザイナーや職人を支援する取り組みにも沿ったものと考えています。

【支援内容詳細】

- ・ヴェネチア建築大学 (IUAV) におけるコース受講料
- ・渡航費、コース受講中の生活費
- ・渡航前のイタリア語研修費

【プログラムについて】

- ・期間：2012年1月～4月

- ・目標とプログラムの目的：

独創的なレザーグッズで知られるラグジュアリーブランドのボッテガ・ヴェネタとジャコモ・ルモール・ヴェネト生産性財団の協力の下、高品質のレザーケースの企画や構造にまつわるスタイリング面および技術面の問題を網羅的に理解する視点を提供することを目的としています。技術者や職人と直接コミュニケーションをとりながら、創造的な視点、実用的な技術、そして高品質のレザー素材を最大限に生かすためのスキルについて学ぶプログラムを目指しています。

- ・研修期間と内容：

このプログラムは、座学による理論の学習、理論を中心とした授業および実習授業、キャラクター・マーチャンダイジングおよびその技法に関する理論の講義、インターンシップ、ワークショップでのプロトタイプ制作に分かれており、2012年1月から4月までに予定されている全学習活動について、出席が義務付けられています。

小物の歴史と技術、小物のコンセプトデザイン、素材（レザーや金具）の不良の種類と類型分析についての対面式の授業があります。また、設備の充実した研究室を利用し、型を作るための技術や、小物の構造についても学びます。実習授業の終了後は受講生全員で、1つのテーマに沿ってカプセル・コレクションのデザインに取り組みます。

このほか、なめし業者や金具メーカーの企業見学ツアーも予定されています。

2 募集対象者

デザイン、アートなどクリエイティブな領域を学んだ経験があり、今回のプログラムである「バッグ・デザイン」及び「商品開発」に積極的に取り組みたいと思う方。

- ・18歳以上30歳未満（2012年1月1日現在）。
- ・大学、短期大学および専門学校の学生および卒業生。
- ・東日本大震災において被災された方。
- ・日常会話程度の英会話能力がある方。またはイタリア語を習得することに積極的な方（留学前に日本にて一ヶ月間のイタリア語研修が実施されます）

※授業はイタリア語で実施されます。

- ・自薦のみに限らせて頂きます。

BOTTEGA VENETA

3 募集期間および期限

平成 23 年 9 月 27 日 (火) から 11 月 7 日 (月) まで。応募書類は 11 月 7 日必着。

4 応募方法

応募書類 (以下 a ~ e) を応募書類送付先へ、期限までに送付下さい。

- a: 本人作品のポートフォリオ。(フォーマット: A4 サイズのファイル、10 枚以下、震災によりポートフォリオを無くされた方は必ず明記して下さい)
- b: 在学証明書もしくは卒業証明書
- c: 被災証明
- d: 履歴書 (フォーマット自由)
- e: 志望動機

東日本大震災体験をどう乗り越えてきたかを含め、1200 文字以内 (400 字詰め原稿用紙 3 枚など) で志望動機をお書き下さい。

応募書類送付先

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-5-14 銀座マロニエビル 5 階

株式会社 ボッテガ・ヴェネタ ジャパン

「ボッテガ・ヴェネタ イタリア留学支援プログラム係」宛

書類に不備があった場合は選参考から外れる場合があります。

電話によるお問い合わせは不可とさせていただきます。

お問い合わせ先: tohoku.program@jp.bottegaveneta.com

5 選考及び発表

- (1) 選考方法: 株式会社 ボッテガ・ヴェネタ ジャパンと以下の選考委員において厳正な選考を行います。

※五十音順、敬称略。

- ・飯田高誉 (青森県立美術館 チーフ・キュレーター)
- ・生駒芳子 (ジャーナリスト)
- ・亀井誠一 (カーサブルータス編集長)
- ・隈 研吾 (建築家)

- (2) 選考基準

- ・「バッグ・デザイン」「商品開発」に取り組む能力
- ・3ヶ月のイタリアでの研修コース体験への熱意

- (3) 一次選考、二次選考および発表

書類による一次選考通過者を 11 月 14 日まで (予定) に通知いたします。

二次選考は 11 月下旬 (予定)、東京都内にてボッテガ・ヴェネタおよび選考委員との面接になります。

発表は 12 月上旬 (予定) に合格者のみに通知いたします。

6 その他

- ・送付された応募書類は、返却いたしません。
 - ・個人情報については、本プログラム以外の目的では利用いたしません。
- また、利用目的に照らして不要となった個人情報については、速やかに且つ適正に削除・廃棄いたします。

BOTTEGA VENETA

ボッテガ・ヴェネタ

東日本大震災 被災地の若者に向けたイタリア留学支援プログラムを実施

東京 - ボッテガ・ヴェネタは、東日本大震災で被災された学生や卒業生を対象とするチャリティプログラムを実施します。このプログラムは日本の若者 3 名をイタリアに招待し、バッグのデザインや製品開発などを学べる 3 ヶ月間の上級コースに参加してもらうものです。このコースはボッテガ・ヴェネタがヴェネチア建築大学 (IUAV) およびジャコモ・ルモール・ヴェネト生産性財団と共同で開発しました。留学プログラムの無償提供は、ボッテガ・ヴェネタと強い絆で結ばれている地域に還元する継続的な社会貢献活動の一環であると同時に、長らく続けてきた次世代のデザイナーや職人を支援する取り組みにも沿ったものと考えています。

このチャリティプログラムは、9 月下旬から募集を開始します。募集対象者は東日本大震災で被災された日本人の大学生、短期大学生、専門学校生、またはその卒業生で、年齢は 18 歳以上 30 歳未満の方となります。応募締め切りは 11 月 7 日までとなっており、志望動機に加え、今回の大震災をどのように克服されたのかを含め、自身の経験を通じて乗り越え、学んだことをまとめた小論文を提出することが求められます。候補者は 11 月中旬までに 6 名に絞られ、面接を経て、最終的に 3 名が選ばれます。選考を通過した 3 名は 2012 年 1 月にイタリアに渡航し、高品質のレザーバッグの企画や構造に関する様々な事柄について、スタイルや技術的な面などから細かく、包括的に学び、また熟練の技術者や職人たちから直接指導を受けながら、高品質のレザーに実際に用いられている様々な技術を体得する機会を得ることができます。

クリエイティブ・ディレクターのトーマス・マイヤーは「留学プログラムを無償で提供する今回の取り組みは、素晴らしいことだと思います。また、若い人たちが懸命に努力して伸ばそうとしているその能力や創造性をサポートできることを嬉しく思います。日本の皆さんの勇気と決意には、今も心を打たれます。また、職人の技をブランドの中心に据える私たちにとって、このような取り組みは私たちの責任であるだけでなく、大きな喜びでもあるのです。このコースはボッテガ・ヴェネタと IUAV、ジャコモ・ルモール・ヴェネト生産性財団が協力して開発しましたが、将来性を期待できる、意義深い取り組みとなりました。日本の学生の皆さんにとっても、刺激的で他では得られない素晴らしい経験になると確信していますし、このような機会を提供できることを大変嬉しく思います」と語っています。

ボッテガ・ヴェネタの社長兼 CEO のマルコ・ビッツァーリは「ボッテガ・ヴェネタは、若い人たちの才能を育てる活動に真摯に取り組んでいます。若手のデザイナーの方たちにとって、将来の成功につながり得る、貴重な一生ものの技術を会得できるという計り知れないチャンスとなるでしょう。このように有意義で社会に貢献できる取り組みに関わることができ、嬉しく思います」と述べています。

今年日本で開かれる Fashion' s Night Out では、イベント当日のボッテガ・ヴェネタ表参道店の売上から 10% を寄付金とし、今回のチャリティプログラムに活用いたします。

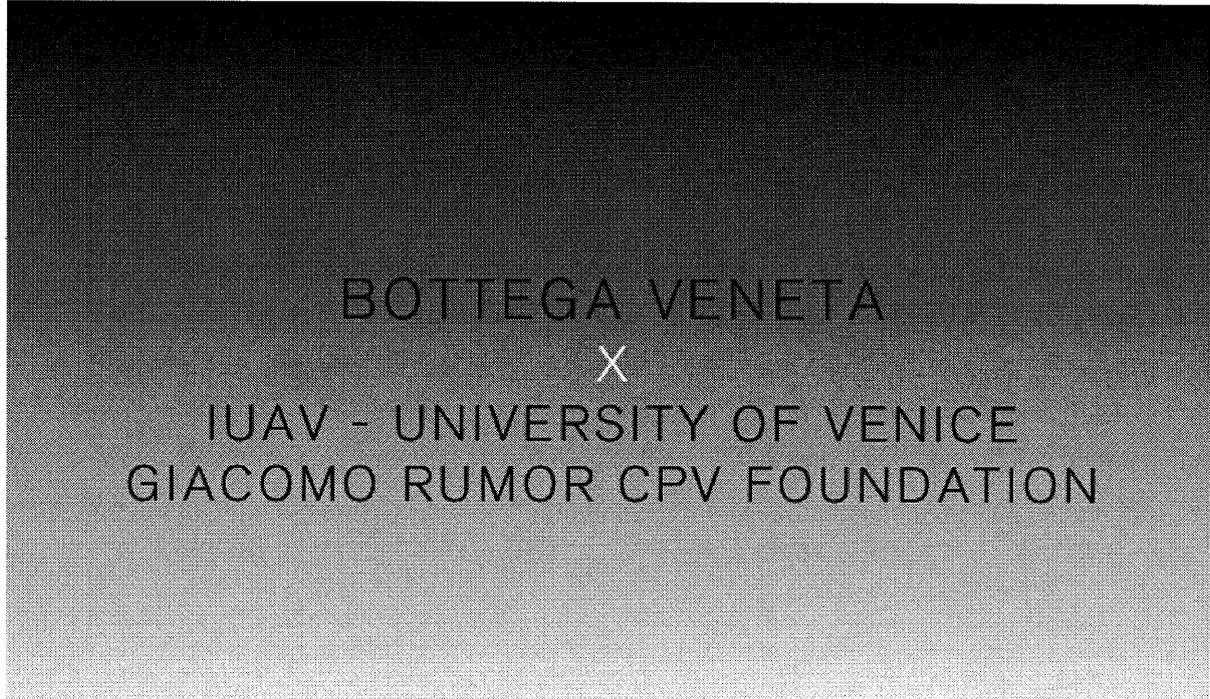
Bottega Veneta

スペシャルプロジェクト / 被災地の若者に向けたイタリア留学支援

友達に教える

ショッピング

もっと見る スペシャルプロジェクト



ボッテガ・ヴェネタ

東日本大震災 被災地の若者に向けたイタリア留学支援プログラムを実施

東京 - ボッテガ・ヴェネタは、東日本大震災で被災された学生や卒業生を対象とするチャリティプログラムを実施します。このプログラムは日本の若者3名をイタリアに招待し、バッグのデザインや製品開発などを学べる3ヶ月間の上級コースに参加してもらいます。このコースはボッテガ・ヴェネタがヴェネチア建築大学 (IUAV) およびジャコモ・ルモール・ヴェネト生産性財団と共同で開発しました。留学プログラムの無償提供は、ボッテガ・ヴェネタと強い絆で結ばれている地域に還元する継続的な社会貢献活動の一環であると同時に、長く続けてきた次世代のデザイナーや職人を支援する取り組みにも沿ったものと考えています。

このチャリティプログラムは、9月下旬から募集を開始します。募集対象者は東日本大震災で被災された日本人の大学生、短期大学生、専門学校生、またはその卒業生で、年齢は18歳以上30歳未満の方となります。応募締め切りは11月7日までとなっており、志望動機に加え、今回の大震災をどのように克服されたのかを含め、自身の経験を通じて乗り越え、学んだことをまとめた小論文を提出することが求められます。候補者は11月中旬までに6名に絞られ、面接を経て、最終的に3名が選ばれます。選考を通過した3名は2012年1月にイタリアに渡航し、高品質のレザーバッグの企画や構造に関する様々な事柄について、スタイルや技術的な面などから細かく、包括的に学び、また熟練の技術者や職人たちから直接指導を受けながら、高品質のレザーに実際に用いられている様々な技術を体得する機会を得ることができます。クリエイティブ・ディレクターのトーマス・マイヤーは「留学プログラムを無償で提供する今回の取り組みは、素晴らしいことだと思います。また、若い人たちが懸命に努力して伸ばそうとしているその能力や創造性をサポートできることを嬉しく思います。日本の皆さんの勇気と決意には、今も心を打たれます。また、職人の技をブランドの中心に据える私たちにとって、このような取り組みは私たちの責任であるだけでなく、大きな喜びでもあるのです。このコースはボッテガ・ヴェネタとIUAV、ジャコモ・ルモール・ヴェネト生産性財団が協力して開発しましたが、将来性を期待できる、意義深い取り組みとなりました。日本の学生の皆さんにとっても、刺激的で他では得られない素晴らしい経験になると確信していますし、このような機会を提供できることを大変嬉しく思います」と語っています。ボッテガ・ヴェネタの社長兼CEOのマルコ・ピッツァーリは「ボッテガ・ヴェネタは、若い人たちの才能を育てる活動に真摯に取り組んでいます。若手のデザイナーの方たちにとって、将来の成功につながり得る、貴重な一生ものの技術を会得できるという計り知れないチャンスとなるでしょう。このように有意義で社会に貢献できる取り組みに関わることができ、嬉しく思います」と述べています。今年、日本で開かれるFashion's Night Outでは、イベント当日のボッテガ・ヴェネタ参観店道の売上から10%を寄付金とし、今回のチャリティプログラムに活用いたします。

募集要項をダウンロードする (1.49 Mb)

ログイン

東日本大震災
子どもの学び支援ポータルサイト



ホーム | 支援の要請 | 支援の提案 | 削除・変更依頼 | このサイトについて | お問い合わせ

メニュー

支援の提案情報登録

支援の提案情報一覧

ホーム > 支援の提案 > 支援の提案情報一覧

NEW!!

すべての提案を一覧にしました！(2011年10月25日15:00現在)

「支援の提案」リスト



←こちらからダウンロードできます。

支援の提案情報データベース

支援の提案情報データベース >> コンテンツ詳細



支援の提案

受付ID	1914
都道府県・海外	東京都
団体名	ボッテガ・ヴェネタ
担当部署	ボッテガ・ヴェネタ イタリア留学支援プログラム係
担当者氏名	ボッテガ・ヴェネタ イタリア留学支援プログラム係
メールアドレス	tohoku.program@jp.bottегaveneta.com
電話番号	0570-000-677
FAX番号	
支援の内容	学校への受入等

- (1) 職種、派遣人数
- (2) 派遣可能期間
- (3) 支援可能地域
- (4) 業務内容、資格の有無
- (5) その他の特記事項
- (6) 物品の種類、数量
- (7) 提供可能期間
- (8) その他の特記事項
- (9) 学校への受入等

【デザインを学べる3ヶ月のイタリア留学を支援】

イタリアのファッションブランド「ボッテガ・ヴェネタ」では、イタリアのベネチア建築大学でバックのデザインや商品開発を学ぶ研修に参加する被災地の若者3名を募集しています。

期間中の受講料、渡航費、生活費と合わせ、渡航前のイタリア語研修費を支援いたします。

詳細、応募要項についてはボッテガ・ヴェネタWEBサイトをご参照ください。

http://www.bottегaveneta.jp/ja_JP/stories/gallery-IUAV-Charity-blog-stories.html

メッセージ

登録日時 2011/10/25

検索キーワード

NEW | 記入者:管理者 |

一覧へ戻る